

はしれ、医療。



私たちは、忘れない。
この日、全てを救えなかったことを。

生命が急を要するとき、
最大の障壁となるのは
すぐに検査ができないこと。
災害に見舞われた現場でも
速やかに検査をすることができれば、
その後の正確な医療が可能になる。
一秒でも早く医療者の手につなぎ
ひとりでも多くの命を救うために、
私たちは「災害医療車」を創り出し
あらゆる最前線へと駆けてゆく。



私たちは、知っている。
災害はどこにでも起こり得ることを。

その車は、走る病院。

災害医療車「Medical-ConneX」メディカル・コネクス

医療法人 伯鳳会がコンセプトを描き、第一号車を導入した
災害医療対応のモビリティ・ソリューション。
世界初(※)の免疫・生化学検査機器とCTを同時搭載し、
COVID-19などの感染症にも対応が可能。
検査車両と電源車両からなり、水やエネルギーの外部補給も不要。
AI診断とITを駆使し、災害医療支援を即座に展開する。



※CT装置と生化学・免疫装置を同時搭載した移動型医療ソリューション。シーメンスヘルスケア調べ

医療をつなぎ、未来をつなぐ。多くの命を救うために。



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



私たちは、あきらめない。
一秒でも早く、医療を届けることを。